

非常電源（燃料電池設備）試験結果報告書															
試験実施日 年 月 日															
試験実施者															
住 所															
氏 名															
消防用設備等の別															
使 用 区 分		消防用設備等のみに使用（ ）													
		その他と共用（ ）													
燃 料 電 池 設 備 の 様 仕		製 造 者 名 又 は 商 標								定 格 出 力		kW			
		形 式 番 号 ・ 製 造 年								定 格 電 圧		V			
試 験 項 目								種別・容量等の内容				結果			
外 観 試 験	設 置 場 所 等	設 置 場 所													
		換 気 設 備								—					
		有 効 な 防 火 区 画								—					
		防 水 措 置								—					
		出 火 防 止 ・ 延 焼 拡 大 防 止								—					
		照 明 設 備 の 有 無								—					
		標 識								—					
	構 造 ・ 性 能								—						
	設 置 方 法	保有距離（m）	保有距離を確保しなければならぬ機器等部分	操前 作 面	点 検 面	換 気 面	その他の面	相対する面				変電設備、自家発電設備又は蓄電池設備		建築物等	—
								操 作 面	点 検 面	換 気 面	その他の面	キュービクル式	キュービクル式以外		
設 置 方 法		分 岐 方 法				—									
		結 線 ・ 接 続				—									
		表 示				—									
		耐 震 措 置				—									
		燃料電池・制御装置・改質器				—									
		配 線				—									

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 選択肢のある欄は、該当する事項を○で囲むこと。

3 使用区分の（ ）書きは、共用している設備名を記入すること。

4 結果の欄には、良否を記入すること。

5 ※印の試験は、「燃料電池設備の基準」（平成18年消防庁告示第8号）に適合しているものとして、総務大臣又は消防庁長官が登録した登録認定機関の認定を受けた旨の表示が付されているものにあつては、当該設備に係る部分について省略することができる。